

総合周産期母子医療センター新生児科

2018年度総入院数は331人(前年比-21.9%)であった。総入院数減少は新生児病棟(NIU, GCU)の感染防御対策のために2018年11月末より2019年2月末まで新生児集中治療室NICUを、2019年3月中旬まで新生児回復室GCUを閉鎖し、環境整備、消毒、スタッフの教育などを行ったため、この期間新規ハイリスク新生児の受け入れを中止していたためである。入院の内訳は、在胎週数が未熟で出生体重の小さい超低出生体重児(出生体重1000g未満)が37人(前年度より-17人)、極低出生体重児(出生体重1000-1500g未満)が44例(前年度より+8人)、低出生体重児(出生体重1500-2500g未満)が101例(前年度より-164人)であった。超・極低出生体重児は合わせて総入院数の24.5%であった。在胎期間別内訳は22-24W:15例、25-27W:19例、28-30W:24例、31-33W:54例、34-36W:59例、37W以上:160例であった。重症新生児仮死や遷延性肺高血圧症、胎便吸引症候群、重症新生児仮死などの出生体重2500g以上の児は149例で総入院数の45.0%であった。

さいたま赤十字病院産科からの入院は166件で、総入院数の50.2%であり、分娩立会い件数は149件で総入院数の45.0%であった。院外からの新生児搬送入院は165件で、新生児ドクターカーによる院外新生児搬送件数は45件であった。

埼玉県遠隔胎児診断支援システムを活用し、先天性心疾患・先天性外科疾患が胎児診断され当センターNICUに入院した児は54例であった。特に当センターでの胎児診断が広報されてから2018年度後半は胎児診断症例が増加した。特に先天性心疾患に関してはNICU入院後に治療介入が必要だった症例は49例と増加し、埼玉県内全域の総合・地域周産期産科および新生児施設から紹介されていた。

特殊治療としては人工換気療法157件(入院患児の47.4%)、サーファクタント補充療法59件、一酸化窒素吸入療法16件、脳低温療法13件、脳平温療法12件、血液透析3件、ECMO 1件、であった。

死亡数は12例で剖検率は58.3%であった。染色体異常・奇形症候群などで死亡したのは10例(18torisomy:2例、18torisomy:1例、TAM胎児水腫:2例、ポッター症候群:1例、バチルスセレウス敗血症:2例、先天性横隔膜ヘルニア:2例)で、それ以外で死亡したのは2例(重症仮死)であった。死亡率:在胎期間別22-24W;6.7%(1/15)、25-27w;0.0%:出生体重別~499g;0.0%、500-999g;5.7%、1000-1499g;4.5%(2/44)。

2018年度在籍常勤医(12名):清水正樹(総合周産期母子医療センター長、新生児科部長兼科長)、川畑 建(副部長、NICU病棟長)、菅野雅美(副部長、GCU病棟長)、閑野将行、閑野知佳、佐伯久子、今西利之、小林早織、芳賀光洋、柏 直之、西岡真樹子、稲毛由佳、角谷和歌子、常勤的非常勤(4名) (清水 正樹)

出生体重別入院数

入院数	出生体重						合計
	~499g	500~999g	1000~1449g	1500~1999g	2000~2499g	2500g~	
2018	5	32	44	53	48	149	331
2017	1	53	36	57	60	217	424
2016	1	14	26	40	53	238	372
2015	0	16	22	67	77	250	432

在胎期間別入院数

入院数	在胎期間						合計
	22-24W	25-27W	28-30W	31-33W	34-36W	37W～	
2018	15	19	24	54	59	160	331
2017	19	24	34	55	53	239	424
2016	6	12	11	21	55	266	371
2015	4	8	10	53	81	276	432

出生体重別・在胎期間別死亡率

2018年度	22-24W	25-27W	28-30W	31-33W	34-36W	37W～	合計
入院数	19	24	34	55	53	239	424
死亡数	1	3	0	0	2	3	9
死亡率	5.3%	12.5%	0.0%	0.0%	3.8%	1.3%	2.1%

2018年度	～499g	500～999g	1000～1449g	1500～1999g	2000～2499g	2500g～	合計
入院数	1	53	36	57	60	217	424
死亡数	0	3	2	1	1	2	9
死亡率	0.0%	5.7%	5.6%	1.8%	1.7%	0.9%	2.1%

超低出生体重（出生体重 1000g 未満）の主な治療および退院時予後（2018 年度）

在胎週数	n	院外出生	CLD28	CLDステロイド	CLD36	PDA手術	晩期循環不全	IVH1-2	IVH3-4	PVL	敗血症	NEC	FIP	難聴	ROP治療	死亡数	HOT導入
22-23w	9	0	9	3	10	3	4	4	4	0	4	2	1	0	2	1	2
24-25w	10	2	10	3	11	2	10	5	3	0	3	0	1	0	0	0	2
26-27w	10	3	9	1	11	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
28-30w	4	0	4	0	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0
30w-	2	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

主な治療および剖検率

	2015	2016	2017	2018
人工呼吸換気	211	181	182	157
STA補充療法	82	57	75	59
NO吸入療法	18	11	16	16
脳低体温療法	18	26	13	13
血液透析	2	3	5	3
ECMO	0	2	1	1

主な先天性疾患（2018 年度）

先天性心疾患		先天性外科疾患		剖検率	
大血管転位症	5	消化管閉鎖	12	2018	58.30%
両大血管右室起始症	5	横隔膜ヘルニア	3	2017	25.0%
大動脈縮窄症/大動脈離断	9	臍帯ヘルニア	2	2016	50.0%
総動脈幹症	1	CCAM	1	2015	45.5%
左心低形成	0	総排泄腔遺残	1		
単心室症	4	髄膜瘤	2		
大動脈弁閉鎖	2				
肺動脈弁閉鎖	4				
三尖弁閉鎖	3				
総肺静脈還流異常	1				
Ebstein奇形	1				